

プロポーザル評価基準

プロポーザル評価は、企画提案書、見積書等の関係書類及び参加者からの説明について、以下の評価基準に基づき実施する。評価点の満点は105点とする。

評価項目及び評価内容		評価基準点				
○事業の企画・実施		非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る
企画内容	①事業実施方針 ・募集要項・仕様書に基づき、目的を十分理解した内容となっているか。	15	12	9	6	3
	②巡回指導支援員の選定方針 ・巡回指導支援員は、制度等について精通しており、かつ十分な実績、能力を有しているか。	15	12	9	6	3
	③巡回指導支援の実施方法 ・巡回指導支援の実施方法は、効果的な内容となっているか。	15	12	9	6	3
	④スケジュール ・スケジュールは妥当かつ現実的なものか。	10	8	6	4	2
	⑤独自提案 ・効果的な独自提案があるか。	10	8	6	4	2
○事業実施体制・能力等		非常に優秀	優秀	普通	やや劣る	劣る
体制など	① 実施体制 ・本事業の目的を達成するために十分な実施体制があり、必要な専門知識を有する者の確保が期待できるか。	10	8	6	4	2
	② 業務実績 ・実施に必要な知識、ノウハウ、経験等は十分であるといえるか。	10	8	6	4	2
	③ 業務実施責任者の能力 ・業務実施責任者は、責任者として必要な知識、経験、資格等を有し、指導・監督能力の高い者であるか。	10	8	6	4	2
	④ 事業費の妥当性 ・事業費の積算は妥当か。また、事業に要する費用と目標・効果とのバランスはとれているか。	5	4	3	2	1
○社会的課題への取組みに関する評価						
	① 仕事と家庭の両立（3点）	該当する場合に加点（1～3点）				
	② 障がい者雇用（1点）	該当する場合に加点（1点）				
	③ 若者の採用・育成（1点）	該当する場合に加点（1点）				
合 計		105 ～ 20				